

第5回 西大阪べんきょうかい 報告書

平成28年3月6日
in 寝屋川支援学校

Before



After



「第5回西大阪べんきょうかい」も様々な方面より、多くの方が参加して下さった会で、とても心温まる会になったことを心より嬉しく思います。9人の皆様にお越しいただき、教師が8名、一般より1名でした。

「環境を整える」

3学期はあっという間で、いつの間にか3月になり、高等部は卒業式を9日に控えており、小中学部は来週に控えています。卒業生を気持よく見送るために、体育館から一番近い作業棟1Fの男子トイレを掃除しました。1年前にも掃除をしたトイレで、高等部の掃除当番が毎日掃除もしているの、それほど汚れてはいないだろうと思っていました。表立っては汚れは見えず、小便器の奥や換気扇、手洗いの排水口、使用禁止になっている詰まったままの大便器など、意外と多くの汚れがありました。

参加された皆様はその汚れにゆっくりじっくり向き合って汚れを落としておられました。大まかには、便器→壁→床の順に掃除をしていき、便器に3～40分もの時間をかけました。しかし、それでも「あともう少し、、、」「この見えているところが気になる」と時間がたりませんでした。私はこのやり残した気分がとても大事であると考えます。次回にこのやり残したところをやろう、次回は時間内でやりきれるように準備段取りをしよう、次に向けて歩いていけるのではないかと考えております。それは掃除に関わることなく、何事にも通ずることであると思います。やり切るといふことはとても大事であると思います。そのことに加えて、やり残すという考えも次へのステップアップ、長く続けるという点においてはいいかもしれませんね。壁に取り組み中で、鏡の掃除も時間をかけて行いました。石鹸で汚れを落とし、水で流して、最後に新聞で磨く、この新聞で磨くことで一つの曇りなく、透き通った鏡になりました。新聞のインクの成分にワックスの効果があり、程よい状態にしてくれます。これは鏡だけでなく、ガラスでも同じことがいえます。そして、床の掃除、たわしで掃除を行いました。最後に水で流すときに気がついたことがあります。シャワーの付いている場所が後から付いたことにより、トイレ内に水が排水に流れることなく、床に大量に残ってしまう場所が存在しました。やはりそのことにより、汚れもそこに溜まってしまいます。意識をして、水や汚れが溜まらないようにしないといけないなと思いました。

掃除終了後の感想発表会では、一人の小学校の先生が隣のクラスが学級閉鎖になっているので、子どもたちと掃除をしましたとおっしゃられました。その中で、子どもたちには誰にも気づかれなくてもいいんだよと伝えたともおっしゃられていました。子どもたちは本当だったら「俺がやってあげてんで」と言いたいところだと思います。そのことに今はわからなくても、10～20年後に子どもたちが自分の中で、あのときこんなことをがかったなと思うことが出来るだけで、すごいことであると思います。掃除をするということは、間違えなく「今」を大切にしていると思います。しかしその想いは10年後、20年後に続いていく、私はとても素敵だと思いました。また、今回は初めての方が2名参加され、そのお二方ともスピードがものすごく速く、頭で考えるというより、心を前において歩まれているように感じました。そのことに自分自身純粋に学ばせていただきました。

最後に、今回も驚くほど綺麗になりました。決してそのことに見返りを求めることなく、そのトイレを使ってくれる人が気持ちよく使ってくれたら、気持ちの良い気分になって学校そのものが良い雰囲気になればいいと思います。今回はトイレの掃除ではありますが、学校の環境を整えていくことで、少しでも子どもたちが過ごしやすい環境になればいいなと思います。そして少しずつではありますが、この西大阪べんきょうかいを継続して続けていきたい所存であります。ありがとうございます。

西大阪べんきょうかい 世話人 西橋聖次 拝